

	No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	43%	57%		・利用状況により適切に確保できていないこともある ・2教室あるので指導員の配置も考え人数の少ない部屋へ移動していただいている
	2	職員の配置数は適切であるか	29%	71%		・人員不足の解消は必要 ・職員スタッフの協力のもと配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	43%	14%	43%	・駐車場と入口の段差解消のためスロープの取り付け ・ルーム内の床をジョイントマットを敷いて危険回避しているが、段差はある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14%	57%	29%	・目標設定の必要性が大きい ・目標設定と振り返りが必要である
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29%	43%	29%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	29%	29%	43%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		71%	29%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	29%	71%		・実践的研修の必要性も感じている ・WEB講座は確保されているがまだ十分ではない ・社内基礎研修がされている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	29%	57%	14%	・アセスメントの取り直し、現状を把握する様に改善 ・面談等を行いながら保護者や利用者のニーズに合った計画書を作成する ・個別支援計画に基づいた支援を実行する
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	43%	43%	14%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	86%	14%		・職員スタッフでチームを組んで活動プログラムを立案している・年間で計画を立て、それに沿って活動プログラムを実施している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	71%	14%	14%	・利用者に人気のプログラムを繰り返して行うので見直しが必要 ・時間の活用で新しいアイデアを生み出すことも必要
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	71%	29%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	57%	43%		個別支援計画書を基に指導を行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	71%	14%	14%	・行事のある日は事前打ち合わせが出来ているが、内容や役割分担は出来ていない ・朝礼を行って確認できている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	29%	57%	14%	・終了後の振り返りを行わない日もある ・送迎後に連絡帳の見直しをして振り返りや気持ちを指導員同士で報告しあうが、まだ全員ではないので改善したい・朝礼で昨日からの引継ぎ事項で確認し合う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	43%	43%	14%	全員の毎日の行動記録をつけるのは難しいが、いつもと違う行動がある場合は報告を行うようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	57%	29%	14%	今後定期的かつ継続的にモニタリングを行うようにしていく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	29%	71%		基本活動を複数組み合わせ支援しているが、支援が適切なかわからない	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	57%	29%	14%	・最も精通した指導員が誰なのか判らない ・今後担当者会議に出席する人を協議し決めておくのはどうか	

No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	57%	29%	14%	情報共有の必要性を理解し積極的な入手に努める
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等や保護者と連絡体制を整えているか	86%	14%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	14%	71%	14%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57%	43%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14%	71%	14%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		43%	57%	・地域の行事に参加しているが地域の子供達との交流はない ・行事活動への参加は行っていないが、戸外活動を通し触れ合う機会はある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		57%	43%	業務支援上の都合がつけば参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	57%	29%	14%	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		43%	57%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	29%	43%	29%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	29%	71%		一部の保護者には行っているが、概ね出来ていない
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	29%	57%	父母会はないが、イベント等に参加していただきその中で保護者同士が話しやすい状況を作る等の支援ができればいい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	71%	29%		マニュアルの作成の必要性がある
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	29%	57%	14%	会報の発行は以前は行われていたが、現在はホームページでの情報発信である
	35	個人情報に十分注意しているか	71%	29%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	14%		連絡帳を使って情報伝達をしっかりと行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	14%	57%	29%	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	29%	71%		・訓練等は行っているが、マニュアルが完備されているかわからないし、保護者へ周知できているのか不明である。・一部は出来ているが概ね出来ていない	

平成
31年
度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

【対象者：正職員】

《事業所名》
じどうデイサービス フィール

	No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	71%	29%		非常災害毎に年1回の訓練ではなく、今後は定期的 に実施する必要がある
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	29%	43%	29%	早急に虐待とはを見直し、研修の実施が必要であ る
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14%	71%	14%	身体拘束を行うかについて利用者の理解は難しい と思う。保護者には文章等で説明を行った方が良 いのではないかと
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	57%	43%		・アレルギー情報は共有出来ている ・保護者よりアレルギーの情報を頂いている場 合、現物だけでなく原材料まで注意を払っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57%	29%	14%	事例集の共有は一部の方のみになっているため全 員に読んでいただくように工夫している

自己評価表公表先 ホームページURL：<https://feel.sora-net.or.jp/eval/>